



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月1日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 真瀬 優嘉 TEL 03-6205-8859
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,839	△6.5	401	△14.4	393	△17.9	216	△34.8
2023年9月期第1四半期	3,037	10.3	469	△13.1	479	△11.2	332	△13.3

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 226百万円 (△30.7%) 2023年9月期第1四半期 326百万円 (△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	19.06	—
2023年9月期第1四半期	33.11	—

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	12,220	10,557	86.4
2023年9月期	9,112	7,386	81.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 10,557百万円 2023年9月期 7,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,491	5.6	948	0.8	956	△0.6	557	△14.8	48.35
通期	13,300	11.7	1,940	9.1	1,950	7.9	1,260	2.5	109.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	11,933,516株	2023年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	413,054株	2023年9月期	412,854株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	11,354,488株	2023年9月期1Q	10,033,192株

（注1）期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動等の正常化が進み、雇用・所得環境が改善していく中で、緩やかに回復しております。一方で、不安定な世界情勢の長期化を受けた物価上昇や世界的な金融引き締めに伴う影響により、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社グループを取り巻く国内のインターネット関連市場では、動画視聴やEC（インターネット通販）サービス、F i n t e c h 関連サービスの拡大・成長傾向が継続しております。また、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されますが、リモートワークの定着・拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりやサプライチェーンのサイバーリスクなどサイバーセキュリティの課題は年々増え、かつ深刻化しており、全てのインターネットユーザーが安心して利用できるよう、安全性を求める声は引き続き高まりを見せております。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。また、東証プライム上場企業である株式会社チェンジホールディングス（以下「チェンジHD」といいます。）と資本業務提携契約を締結し、同社を引受先とする第三者割当増資を実施して同社の連結子会社となり、日本国内におけるサイバーセキュリティのトップベンダーとなるべく、様々な取り組みを開始いたしました。

当社グループの主力サービスであるソーシャルサポートサービス、及び成長分野として位置付けているサイバーセキュリティは、インターネットの安心・安全を実現するために必要不可欠なものであり、今後もサービス品質の強化、プロダクトの改善、充実に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間では、EC・フリマサイト向けのカスタマーサポートが堅調に拡大しました。また、サイバーセキュリティ事業は、脆弱性診断やWAF（※1）の拡販により大きく伸長いたしました。

加えて、採用及び教育を中心とした社内体制の強化やエンタープライズ系デジタルBPO領域の拡大に向けた営業活動などの取り組みを継続してまいりました。チェンジHDとの協業に関する取り組みに関しても複数のプロジェクトを立ち上げており、ソーシャルサポート等の主力事業及びサイバーセキュリティ事業において、チェンジHDの既存外注業務の当社への移管や顧客基盤の相互活用、共同提案に向けた準備を開始しております。

国内各センターにおいては、前期の収益悪化要因であった一部の低収益案件について、前期末に改善を果たし、当第1四半期連結累計期間においては引き続きセンター体制の強化、採算性管理の強化に注力いたしました。

用語説明

（※1）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,839,862千円（前年同期比6.5%減）、営業利益は401,790千円（前年同期比14.4%減）、経常利益は393,846千円（前年同期比17.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は216,427千円（前年同期比34.8%減）となりました。

また、2023年12月15日に開示いたしました「(開示事項の経過) 当社親会社による中間持株会社設立に関するお知らせ」のとおり、当社の親会社であるチェンジHDはサイバーセキュリティ業界の再編を目的とした中間持株会社であるサイリーグホールディングス株式会社（以下、「サイリーグHD」といいます。）を設立いたしました。サイリーグHDの代表取締役社長には、サイバーセキュリティ事業をリードしてきた当社代表取締役社長である高谷康久氏が就任いたしました。

当社は今後、チェンジHDとの資本業務提携に加え、サイリーグHD設立によるシナジー効果を最大限発揮し、主力事業はもとより、サイバーセキュリティ領域における加速度的な成長を目指し、引き続き努力を重ねてまいります。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートは、ソーシャルW e bサービス等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、E C・フリマサイト向けのカスタマーサポートサービスが堅調に推移いたしました。

また、エンタープライズ系デジタルB P O領域の拡大に向け、既存顧客への深耕及び新規案件の獲得に取り組みました。加えて、チェンジHDグループの既存外注業務の当社への移管に向けた取り組みに注力いたしました。

その結果、売上高は1,662,372千円（前年同期比5.1%減）となりました。

② ゲームサポート

ゲームサポートは、ソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及びデバッグ業務等を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、海外ゲーム会社のローカライズ案件（言語翻訳や調整等の支援）からのクロスセル展開に注力いたしました。

また、国内ゲーム市場は変わらず大型のヒットタイトルに恵まれず、減収となりました。

その結果、売上高は421,052千円（前年同期比11.4%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスは、インターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続きデジタル広告市場の規制強化などによる需要を取り込むため、既存顧客の案件拡大、新規顧客開拓に注力いたしました。

その結果、売上高は354,907千円（前年同期比12.9%減）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは、主に脆弱性診断、W A F、セキュリティの経営課題を解決するコンサルティングサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、脆弱性診断、W A Fの拡販により、大きく伸長いたしました。

また、更なる成長に向けた採用、教育の強化やマーケティング施策を実施いたしました。加えて、チェンジHDとの共同提案等の取り組みに注力いたしました。

さらに、拡大する脆弱性診断内製化の要望に応えるべく、2023年12月に「脆弱性診断内製化支援」の新コースとして、「W e b脆弱性診断内製化スキャナ併用コース」の提供を開始いたしました。

その結果、売上高は212,092千円（前年同期比21.3%増）となりました。

⑤ その他

その他は、主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。完全子会社であるE Gテストングサービス株式会社が、30年以上の経験とノウハウに裏打ちされた高品質なサービスを訴求し、深耕営業、新規開拓に取り組みました。

その結果、売上高は189,436千円（前年同期比16.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、10,612,325千円となり、前連結会計年度末における流動資産7,404,023千円に対し、3,208,302千円の増加（前連結会計年度末比43.3%増）となりました。

これは主に、現金及び預金が第三者割当により3,159,374千円増加したこと及び売掛金が32,953千円、その他が9,340千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,608,353千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,708,932千円に対し、100,579千円減少（前連結会計年度末比5.9%減）となりました。

これは主に、のれんが24,063千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、12,220,678千円（前連結会計年度末比34.1%増）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,662,991千円となり、前連結会計年度末における負債1,726,791千円に対し、63,800千円の減少（前連結会計年度末比3.7%減）となりました。

これは主に、流動負債の未払消費税等が61,921千円減少した一方、未払法人税等が28,544千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,557,687千円となり、前連結会計年度末における純資産7,386,163千円に対し、3,171,523千円の増加（前連結会計年度末比42.9%増）となりました。

これは主に、剰余金の配当264,802千円を実施した一方、第三者割当による新株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,603,337千円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益216,427千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の業績予想は、2023年11月6日公表時点から変更なく、現時点で業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,749,760	8,909,134
売掛金	1,430,711	1,463,664
仕掛品	9,827	16,122
その他	214,474	223,814
貸倒引当金	△751	△411
流動資産合計	7,404,023	10,612,325
固定資産		
有形固定資産	639,528	618,580
無形固定資産		
のれん	385,015	360,952
ソフトウェア	32,762	30,981
その他	126,137	115,652
無形固定資産合計	543,916	507,585
投資その他の資産		
敷金及び保証金	411,433	418,322
その他	114,054	63,863
投資その他の資産合計	525,487	482,186
固定資産合計	1,708,932	1,608,353
資産合計	9,112,955	12,220,678
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,832	4,306
未払金	811,761	815,596
未払費用	8,192	8,035
未払法人税等	78,605	107,149
未払消費税等	241,508	179,586
賞与引当金	48,974	39,066
その他	221,998	216,698
流動負債合計	1,415,872	1,370,439
固定負債		
役員株式給付引当金	149,958	153,769
長期預り保証金	61,675	62,630
その他	99,285	76,151
固定負債合計	310,918	292,551
負債合計	1,726,791	1,662,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,280	1,967,618
資本剰余金	384,454	1,991,855
利益剰余金	7,332,787	7,284,412
自己株式	△729,300	△729,766
株主資本合計	7,352,222	10,514,120
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	33,941	43,566
その他の包括利益累計額合計	33,941	43,566
純資産合計	7,386,163	10,557,687
負債純資産合計	9,112,955	12,220,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,037,352	2,839,862
売上原価	2,204,195	2,012,434
売上総利益	833,156	827,427
販売費及び一般管理費	363,774	425,637
営業利益	469,381	401,790
営業外収益		
補助金収入	10,548	553
助成金収入	202	715
その他	787	917
営業外収益合計	11,537	2,186
営業外費用		
為替差損	1,137	9,956
その他	17	173
営業外費用合計	1,155	10,129
経常利益	479,763	393,846
特別損失		
固定資産除却損	—	4,474
資本業務提携・増資関連費用	—	57,960
特別損失合計	—	62,435
税金等調整前四半期純利益	479,763	331,411
法人税、住民税及び事業税	99,091	87,720
法人税等調整額	48,507	27,262
法人税等合計	147,598	114,983
四半期純利益	332,165	216,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	332,165	216,427

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	332,165	216,427
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,103	9,625
その他の包括利益合計	△6,103	9,625
四半期包括利益	326,061	226,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,061	226,053

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年8月2日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月11日付で、株式会社チェンジホールディングスから第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が1,603,337千円、資本準備金が1,603,337千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,967,618千円、資本剰余金が1,991,855千円となっております。